

2020年3月20日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体名	社会福祉法人 仙台いのちの電話
団体所在地	
代表者名	飯岡 智 (役職) 理事長
連絡担当者名	
連絡担当者 住所・連絡先	

1. 助成事業報告

事業名	インターネット相談事業
目的	仙台いのちの電話では、2009年から、若年層の自殺予防のために、若者が利用しやすい相談手段としてインターネット相談を実施してきた。事業の継続にはパソコンが不可欠であるが、これまで使用してきた Windows7が2020年1月にサポート終了となり、使用できなくなった。そのためインターネット相談事業を安全に継続することを目的に、Windows10のパソコンを2台導入する。
実施内容	仙台いのちの電話では、おもに若者、また文字による相談を必要とするすべての人を対象に、日本いのちの電話連盟が運営する「インターネット相談」のサイト上に寄せられたメール相談に返信してきた。 2020年1月からはWindows10のパソコン2台を使用し、所定の研修を修了した仙台いのちの電話ボランティア相談員15名が交替で、毎月平均1件から2件のメール相談を受信した。 また、相談者に返信する以外に、パワーポイントを使用したインターネット相談研修にも対応できるようになった。さらに、相談員の担当日の予約や諸連絡の一斉メール連絡が可能になった。

開始から終了までの流れ	2019年10月にWindows10パソコン2台分の見積もり依頼し、11月に発注、2020年1月15日に導入し、以後インターネット相談専用パソコンとして使用している。
活動の成果と教訓	<p>日本いのちの電話連盟が運営するインターネット相談には、全国のいのち電話50センターのうち、15センターが参加し2019年は1,774件の相談を受けた。</p> <p>このうち、仙台いのちの電話では、昨年より24件多い189件（男性71件、女性113件、その他5件）を返信した。これは相談実施15センターの中で最も多い返信数となっている。</p> <p>相談総数1,774件の性別内訳は、男性34%、女性64%。年代別内訳は、20代34%、30代23%、40代19%、10代13%、50代10%、60代以上1%。</p> <p>相談内容は件数が多い順に、保健医療、人生、家族、職場・学校、職業、経済、夫婦の順であった。</p> <p>また、自殺傾向のある相談は1,033件で全体の58.4%であった。</p> <p>仙台いのちの電話で受信した189件についても、年代別、内容別、自殺傾向の割合がほぼ同じ割合であった。</p>
今後の展望など	<p>現在のインターネット相談は、利用者が希望する場合、3回連続して相談できるシステムとなっている。日本いのちの電話連盟で受信した相談総数1,774件のうち、3回継続して相談した方は14%、2回継続した方は28%、1回で終了した方は、58%であった。</p> <p>利用者の満足度が増すよう、今後も日本いのちの電話連盟が主催する継続研修に積極的に参加し、相談員個々のスキルアップを図ると共に新たな相談員を養成しながらインターネット相談体制の継続と充実を図っていく。</p>

## 2. 助成金使途報告書

### ■ 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
一般寄附	30,000	
合計	330,000	

### ■ 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

項目	内容	予算額（円）	実支出額	助成金からの支出額
パソコンWindows10	2台	330,000	330,000	300,000
合計		330,000	330,000	300,000